

10月25日正午必着

明石春浦先生書

逸金 樹扶疏

繞屋樹扶疏（陶潛） 扶疏は枝葉のさかんなる貌。

明石幸子書



草閣臨無地。亦知奇絕景。

江空秋月寒。
未必要人看。

（朱憲）

草閣が雜草の荒れ茂れるところに建てられてをり、
秋の月は寒江を照らして物さびしい景觀である。

10月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

幽意閑情（曹黃門）

園林幽雅已成趣
朝市紛華豈到心
(楊公達)

題破山寺後院（常建）

清晨入古寺
初日照高林

曲徑通幽處

禪房花木深

山光悅鳥性

萬籟此俱寂

惟聞鐘磬音

曼殊沙華

一むら燃えて

秋陽つよし

そこ過ぎてゐる

しづかなる徑

(木下利玄)

幽意閑情

園林幽雅已成趣
朝市紛華豈到心
（楊公達）

幽遠なる心と、しづかなる感情。

心中園林あり何ぞ朝市の紛華におかされんや。



西 墨濤先生書

半紙部規定課題A

10月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

隸書

明石春浦先生書

草書

胸を傷めつつ詩を吟じ、ただひとり歩む。すべてに深い感懷をもよおす。
かの人が魚を釣ったところに久しく立ちつくすとき、ただ鳥の声がきこえてくるだけ。
山中の蔬菜は雨にうたれて枯れ尽き、水辺の樹木が籬の中にはいりこんではえている。
いまわれこの谷川のはとりにあって、君を懐しみ、悲しみ悼む気持をおし静めることができない。

行草書

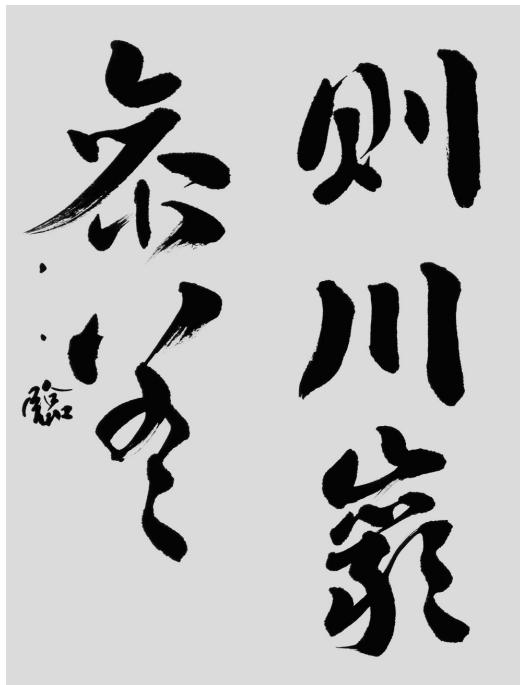
愁吟與獨行
何事不關情
久立釣魚處
惟聞啼鳥聲
山蔬和雨歇
海樹入籬生
吾在茲溪上
懷君恨不平

周處士故居
經周處士故居
周處士故居を経

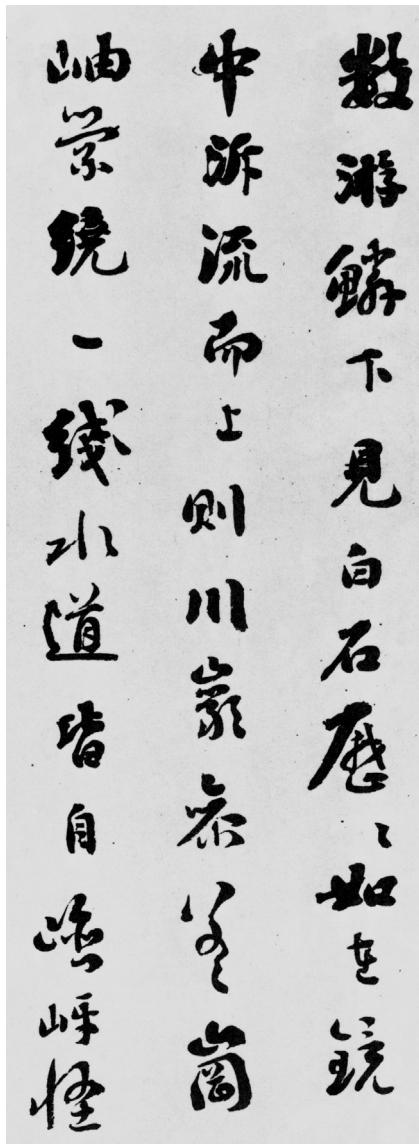
方干

愁吟と獨行と
何事か情に閑わらざる
久しく釣魚の処に立ち
惟だ啼鳥の声を聞く
山蔬雨に和して歌き
海樹籬に入りて生ず
吾れ茲の溪上に在りて
君を懷うて恨み平らかならず

朝日新聞社刊
「三体詩」下より



三浦士岳先生臨書



清劉墉・雜帖冊

游鱗を數う可く、下に白石を見
れば、歷々として鏡中にある
が如し。流れを泝ぼり上れば、
則川巖は參差として、嵐岫
は繁縝す。一綫の水道、皆な嶽
怪石中自り、

劉墉 (りゅうよう)
さつじようちつ
代々貴族の家柄で、父の劉統勲は東閣大学士という官職にまでなった人で、劉墉はその長子として生まれた。父に劣らず徳望があり、累進して体仁閣大学士となり、のちに太子少保が加えられたという。

劉墉 (一七一九～一八〇四) 山東省諸城の人。字は崇如、はじめ木庵と号し、のちに石庵と改めた。ほかに青原、香巖、曰觀峰道人などと号した。

彼は経史百家に通じ、詩文にすぐれ、特に書をよくしたことでも名高い。はじめ董其昌、趙子昂を学び、壯年になり蘇東坡、黃谷山を学び、その後、魏晋の古法におよんで、彼の書は確立されていったと言われる。やや円味をおびながら、一字一字に工夫を凝らし、淡々としているようで、大小肥瘦や結体の変化に気を配っている。明代の連綿草のような派手さとは対照的に想いを内へ籠めた朴訥とした重厚さと深い情味を感じさせる。漆のごとき濃墨を行い、濃墨宰相と称された。

(春濤)



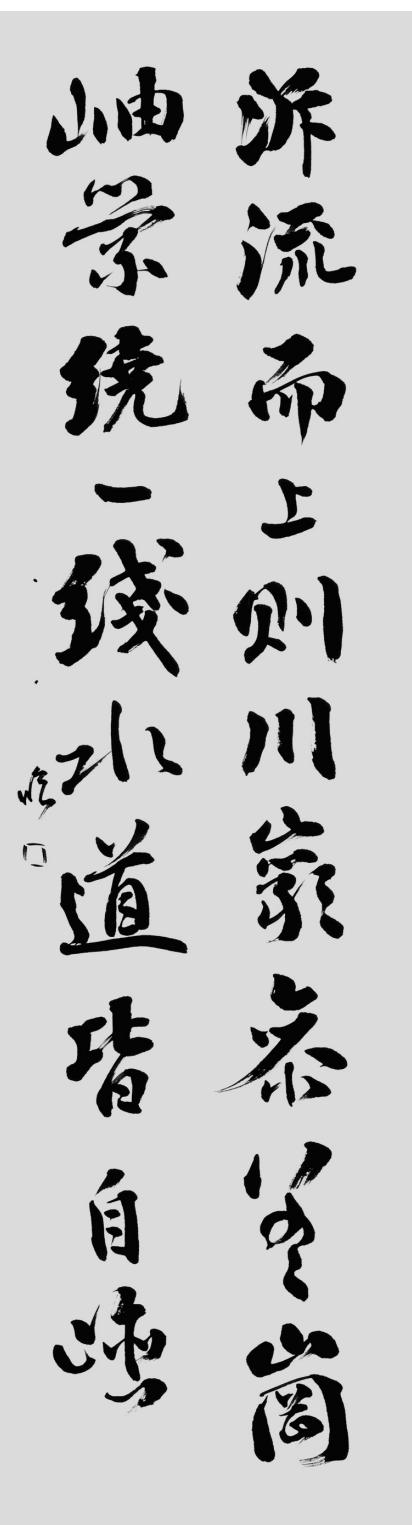
(半折1/4)

清秋竹露深
(曹學佺)

露をうけた秋の竹林は
特に清らかである。

▲倣書参考作品▼

※この祝文での臨書部門の出品は出来ません。



10月25日正午必着

教 育 部 毛 筆



かい
解

けつ
決

中学一年

雨宮春聲先生書



しょう
精

じん
進

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



かい
快

せい
晴

小学五年

榎戸 春龍先生書



もん
問

どう
答

小学六年

横川春川先生書

10月25日正午必着



名
めい

月
げつ

小学三年

藤田幸春先生書



林
りん

道
どう

小学四年

細谷春誠先生書



小学一年・幼年



小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着

教育部 硬筆

ペン字部

空には星がかかる
き庭では虫が鳴く

小学五年

科学の発達は人間の
ゆめを実現させる

小学六年

あなたに、この指が届
くと信じていた

中学

秋の露は白玉のよう
に清らかに光る

一般(級位)

あおひこうのせはあらねど
あればちゞにものいそ悲しけれわが身ひとつ秋にはあらねど(大江千里)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)

また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

はちゅ
ながうり
さいつ
いぶ
たの

幼年

ろ木
にのは
りが
ましき
たい

小学一年

日
さ
なぎ
か
い
み赤
みい

小学二年

夕
んべ
が
あ
大き
たな
地

小学三年

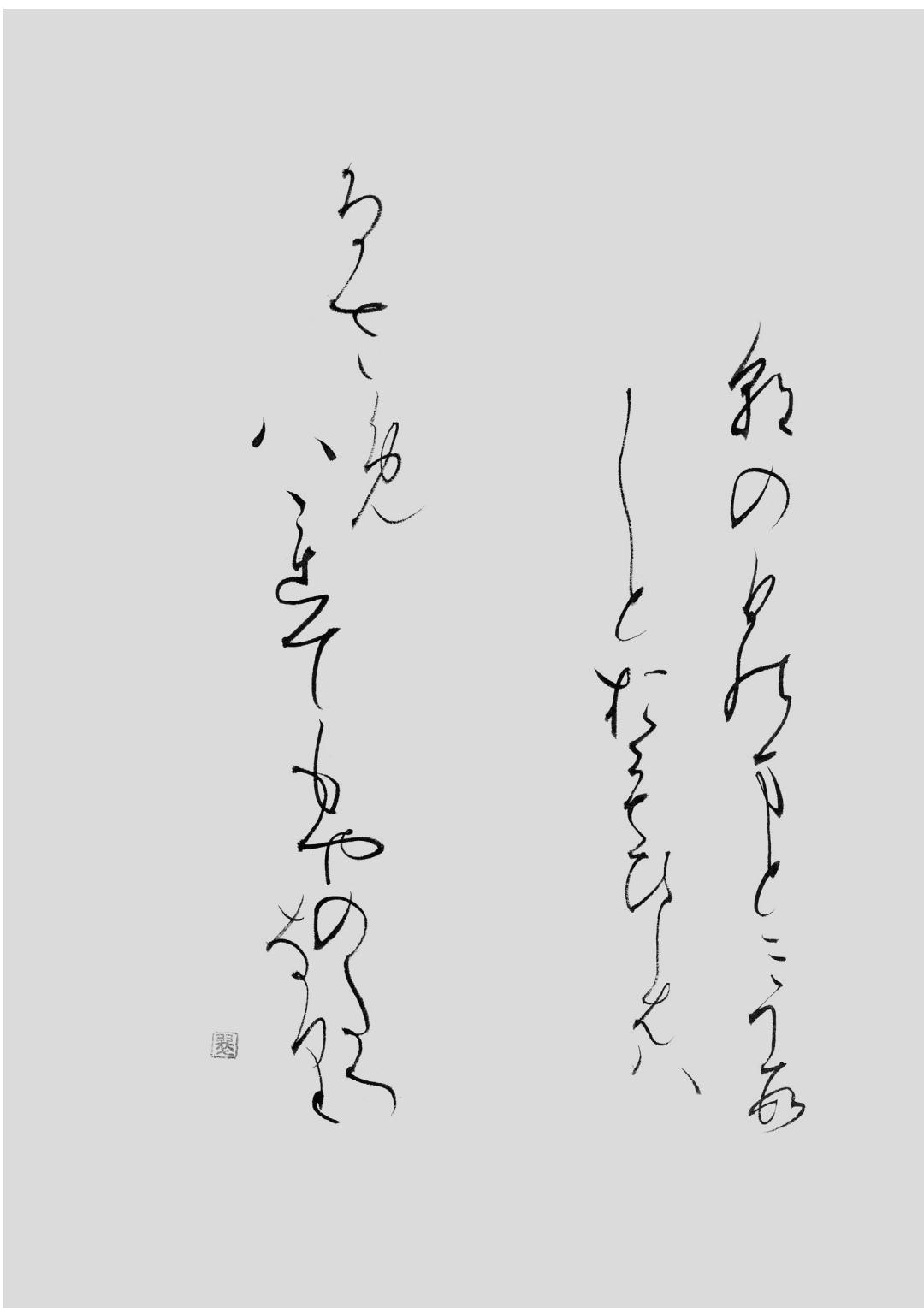
学校
に古
いお寺
がある

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

10月25日正午必着



朝の日能末二ニ須ト於毛四八者免ハ連テ毛多里
（島木赤彦）

松永翠舟先生書